

# よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 CEO 佐々木宏至

このシリーズでは、主にネットワーク環境に関しての解説を中心にIPネットワークカメラの特性に踏み込んで連載してきた。今回のネタはHD-SDIを切り口にする。ネタ元は取引のある工事業者である。

## 【HD-SDI】

ある工事業者はHD-SDIは新設しかやらない。あれ、既存の拡張提案として有望ではなかったのか？その理由についてこう説明する。

- (1) ほとんどの場合、既存の同軸ケーブルでは信号保証が難しく、全てのケーブルの事前テストをやるとコスト的に見合わない。
- (2) メーカーによってはゴールドメッキのBNCに交換するのを前提条件としている話もある。余り効果は期待できないと思うのだが。
- (3) 既設アナログと混在できない。この混在を実現するためには別システムで管理するしかない。

結局HD-SDIマーケットは、新規顧客や既設アナログ顧客に対して画像品質の良さをアピールすることに絞ることが最善となる。ある意味それがシンプルで一番良いマーケティングということになる。

## 【NVRとインターネット】

某カメラメーカー1、某カメラメーカー2・・・その製品のほとんどはOEMだがラインナップとしては揃っている。そこで聞いてくる共通の問題点はこうだ。

- (1) 不定期なカメラ切断が治らない。対応措置のネットワークスイッチのリセットかNVRのリセットで復

旧する。製品の出处が同一のOEMであれば当然同じ現象となる。最近ではフリーズするようなトラブルは減っているが、ネットワーク上のトラブルが増加している。

- (2) ネットワーク上のトラブルの解決策はほとんど期待できない、ネットワークの信頼性は今ではほとんどの人が疑っていないようだが、根本的な点で理解していないことがある。24時間365日休むことなくパケット(通信)を流し続けることは至難の業であることだ。
- (3) 公の場にさらされないNIC。NICとは通信のためのハードウェアと理解していただきたい。エッジデバイスのNICは、PC(もちろんPCにもNICはある)との間においてはあらゆる環境で利用されテストされる。しかしPCをNVRとした場合はどうだろうか？そうなのだ、閉じてしまうのである。結果としては信頼すべき情報が集まらないのである。
- (4) では何とか回避する方法はないのだろうか？弊社の回避事例の一つを挙げると、エレベータにAXIS社のミニドームを採用した。エレベータでは同軸ケーブルを使用しているのでメディアコンバータを使ってip対応とした。エレベータは二基あり双方とも全く同じ構成となっている。しかし、特定の一基だけが不定期にリンクアップした

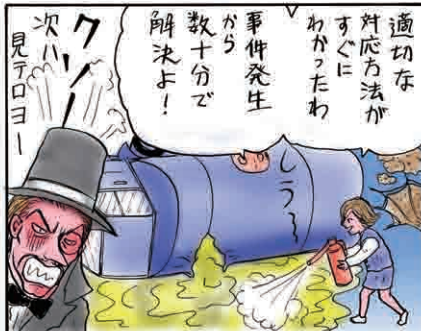
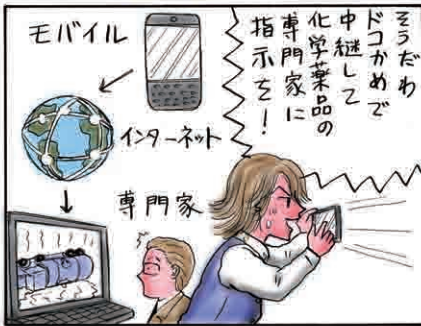
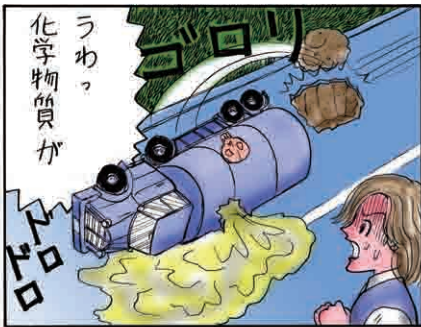
まま映像伝送を停止する。そこで、同一メーカーのカメラとメディアコンバータとの交換、別メーカーのメディアコンバータとの交換でも、症状は改善しない。そこでカメラとメディアコンバータの間にスイッチングHubを入れたところピタリと収まった。最後はオカルトチックのようだ。その理由は推論済みだが紙数に限りがあるので本稿では割愛する。要するに相性だ。イーサ・レベルの最下層の物理層はアナログということだ。しかし、このことからip普及に加速がつかない考えるのは早計だ。問題の本質ではないからだ。

- (5) 本質を理解しない設置施工業者や供給者から、今でもip化する利点は何かと尋ねられる。DVR屋さんにはDVR基準で考えている。しかし若い人たちの立場では、例えばスマホでLineやTwitter、FacebookやYoutubeそしてUStreamなどをよく利用する。文字と音声、静止画と動画をシームレスにリアルタイムに使いこなしている。つまり、ip化のメリットは、管理している映像をシームレスに必要なインターネットに投影できる最短の手法である。

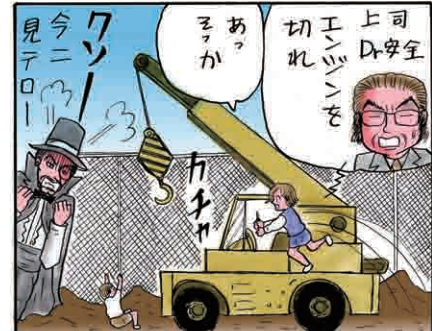
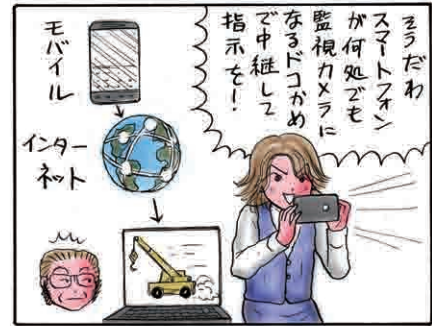
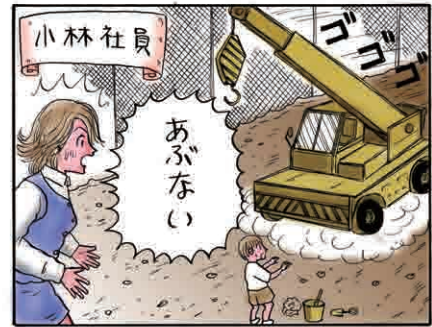
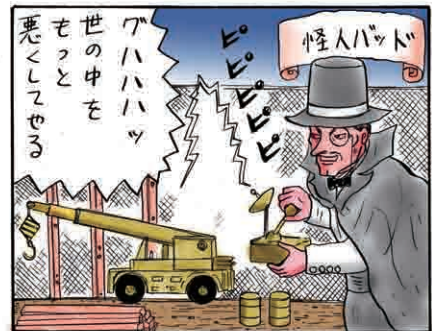
次号では監視用途でのモバイルソリューションを徹底紹介する。



# 連載コミック 「ドコかめ」参上!



スマートフォンがいつでもどこでも監視カメラになる!  
災害対策や遠隔保守点検、巡回警備と用途は無限大。



Copyright © 2013 Javatel inc.  
無断転載厳禁 ドコかめ®

制作 神田 森莉

Genetec社Security Center mobileでご利用いただけます。  
詳しくは <http://www.javatel.co.jp> で。